

作成日 : 2011年 4月 4日
改訂日 : 2024年 4月22日 (第5版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	アミカル顆粒水和剤
製品コード	CHOE
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練堀町3番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8329
緊急連絡先	03-6867-8313
推奨用途	農薬 (芝生用除草剤)
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可
整理番号	1 5 2 2 - 0 1

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入 (気体)	区分に該当しない
急性毒性：吸入 (蒸気)	分類できない
急性毒性：吸入 (粉じん/ミスト)	区分4

皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、免疫系、腎臓）
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期（急性）	区分1
水生環境有害性 長期（慢性）	区分1
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害
 強い眼刺激性
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 眠気やめまいのおそれ
 長期間にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器系、免疫系、腎臓）の障害のおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

粉じん/煙/蒸気を吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 取扱い後、手、顔、眼をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 使用前に取扱い説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 目の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。
 保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。
 廃棄 内容物/容器を法/条例に従って廃棄すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性 拡散した場合、爆発可能性のある粉じん-空気混合物を形成する可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 アミカルバゾン水和剤
 成分及び濃度 (含有率)

(成分)	(化学名/化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> アミカルバゾン	4-アミノ-N-tert-ブチル-4,5-ジヒドロ-3-イソプロピル-5-オキシ-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド /C ₁₀ H ₁₉ N ₅ O ₂	70.0 %	129909-90-6	8-(3)-1429	—
<成分②> 鉍物質微粉、界面活性剤等	—	30.0 %	—	—	—

<安衛法 表示・通知対象物質>

(成分)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
			(安衛法)	(化審法)
結晶質シリカ (成分②)に含有)	0.8 ~ 2.5 %	14808-60-7	—	(1)-548

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 多量の水で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 目の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	霧状水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤等
使ってはならない消火剤	棒状水（飛散するため）
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等が含まれる。
特有の消火方法	消火のための放水等により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないよう適切な措置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。
消火時の注意	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理作業には、保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用すること。粉じんを吸入しない。
環境に対する注意事項	漏出した物質が河川、湖沼、海域等に飛散、流入しないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収すること。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	設備の密閉化、局所排気装置や全体の換気設備を設けること。 熱/火花/裸火/高温のような着火源から遠ざけること。一禁煙容器及び受器は帯電防止型を使用し、必ず接地すること。 静電気対策のために、装置、機器等の設置を確実にすること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 工具は火花防止型のものを用いること。
安全取扱い注意事項	みだりに粉じんが発生しないように取扱うこと。 粉体の堆積を防ぐこと。 静電気対策を行い、作業衣、作業靴は帯電防止型のものとする こと。
接触回避	情報なし
衛生対策	粉じんを吸い込んだり、皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。 取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に、施錠して保管すること。

安全な容器包装材料	<p>飲食品や飼料と区別して保管すること。 製品容器包装材料に準ずること。</p>
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	$E=3.0/(1.19Q+1)$
(吸入性結晶質シリカ)	E : 管理濃度 (mg/m ³) Q : 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
許容濃度	日本産業衛生学会 (2017年) 0.03 mg/m ³
(吸入性結晶質シリカ)	ACGIH (2010年) TLV-TWA 0.025 mg/m ³
設備対策	粉じんが作業場の空気を汚染しないように、設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適切に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク又は簡易防じんマスク
手の保護具	ゴム手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服 (長袖、長ズボン)、保護長靴
特別な注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	固体 (水和性細粒)
色	淡褐色
臭い	わずかな非特異的な臭気
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
pH	6.8 (20.0 g/80 mL水溶液)
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	情報なし
粒子特性	情報なし
かさ密度 (見かけ比重)	0.57
10. 安定性及び反応性	
反応性	通常の手扱いは反応性なし。
化学的安定性	通常の手扱いは熱、酸、光に安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物等が含まれる。
11. 有害性情報	
急性毒性 経口 LD ₅₀	>2,000 mg/kg (雄ラット) (区分に該当しない)
経皮 LD ₅₀	>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分に該当しない)
吸入 LC ₅₀	製剤のデータなし (アミカルバズン原体のデータから計算で算出) (区分4)

皮膚腐食性/刺激性	腐食性なし、刺激性なし（ウサギ）（区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	中程度の刺激性あり（ウサギ）（区分2 A）
呼吸器感作性	情報なし（分類できない）
皮膚感作性	陰性（モルモット）（区分に該当しない）
生殖細胞変異原性	製品について情報なし 区分2に該当する結晶質シリカを1%以上10%未満含有する可能性があることから区分2とした。
発がん性	製品について情報なし 区分1 Aに該当する結晶質シリカを0.1%以上含有することから区分1 Aとした。
生殖毒性	情報不足（分類できない）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	製品について情報なし 成分①アミカルバズンのラット 急性神経毒性試験において、不活発、運動失調等が認められるが、一過性で回復が認められたことから区分3（麻酔作用）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	製品について情報なし 区分1（呼吸器系、免疫系、腎臓）に該当する結晶質シリカを1%以上含有することから区分2とした。
誤えん有害性	情報なし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性			
魚類：	コイ	LC ₅₀ (96 hr)	509 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC ₅₀ (48 hr)	24.2 mg/L
藻類：	緑藻	ErC ₅₀ (0-72 hr)	0.166 mg/L
上記の結果から、水生環境有害性 短期（急性）を区分1とし、急速分解性データがないことから水生環境有害性 長期（慢性）を区分1とした。			
残留性・分解性	情報なし		
生体蓄積性	情報なし		
土壌中の移動性	情報なし		
オゾン層への有害性	情報なし（分類できない）		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等：	内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。	

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	UN 3077
品名（国連輸送名）	環境有害物質（固体）、他に品名が明示されていないもの（アミカルバズン混合物）
国連分類	クラス 9
容器等級	III

海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	IATA/ICAOの規定に従う。
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	荷役作業は丁寧に行い、転倒、転落、引きずり等により容器に衝 撃を加えたり、水濡れや破損させたりしないように注意する。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第23852号
化学物質排出把握管理促進法	第一種・第二種指定化学物質に該当しない
労働安全衛生法	第57条及び第57条の2 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害 物 ・ 結晶質シリカ 0.8 - 2.5% 安衛則第577条の2第3項に規定するがん原性物質（安衛則第577条 の2第3項 令和4年12月26日告示第371号） ・ 結晶質シリカ（石英） 粉じん障害防止規則（但し、該当する粉じん作業がある場合） じん肺法 じん肺法施行規則（但し、該当する粉じん作業がある場合） （但し、該当する粉じん作業がある場合） 毒物及び劇物取締法 毒物・劇物に該当しない 消防法 消防法危険物に該当しない 化審法 第一種・第二種特定化学物質に該当しない 船舶安全法 環境有害物質（固体）有害性物質 等級9 航空法 その他の有害物件 分類番号9

16. その他の情報

参考文献、資料等： —

記載内容の取扱い：

- ・ 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- ・ 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。